

令和3年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<p>①基礎的な知識・技能の定着と思考力・判断力・表現力の育成を目標とした授業実践を行う。</p> <p>②生徒の国際的視野を一層広げ、グローバル人材を育成するため体験活動を活用した実践的な国際教育を充実させる。</p> <p>③生徒主体の学校行事や生徒会活動を通して、豊かで幅広い人間力を養う。</p>	<p>①学習の基盤となる資質・能力の育成に資するためICT機器を活用した授業実践とする。学習支援アプリ等を有効活用しわかる授業を実践する。</p> <p>②外国語教育の充実や姉妹校交流等、積極的に国際社会へ参画する力を育成する。</p> <p>③-1 生徒主体の学校行事となるよう支援する。</p> <p>③-2 活動の成果をホームページ等で広報し、保護者・地域の理解につなげ、生徒の自己肯定感を涵養する。</p>	<p>①-1 学習支援アプリ「ロイロノートスクール」の活用を一層推進し、授業での活用実践、実績をつくる。職員対象の研修会を実施しスキルアップに資する。</p> <p>①-2 成績処理支援システムによる生徒の出欠席管理等を軌道に乗せる。授業出席管理での事故防止を図る。</p> <p>②-1 インターネット会議システムを利用したオンライン交流を行うと共に、多くの生徒が国際交流にかかわる機会を作る</p> <p>②-2 2年生のスピーチコンテストにプレゼンテーションの要素を取り入れる。</p> <p>③-1 行事の実施において、生徒が主体的に運営に携わり計画・実施・振り返りまでのサイクルを回すことができるよう、委員会生徒を指導する。</p> <p>③-2 学校行事の様子等をホームページ等を利用して紹介する。</p>	<p>①-1 「ロイロノートスクール」のメリットを活かしたよりインタラクティブな授業実践が行われたか。</p> <p>①-2 集約された出欠席データで生徒状況をリアルタイムに把握し、生徒の改善指導に反映させることができたか。</p> <p>①-2 成績処理等での生徒の出席管理でのミスを軽減することができたか。</p> <p>②-1 オンライン交流が令和2年度より充実したものになったか。</p> <p>②-1 新たな国際交流の機会を作ったか。</p> <p>②-2 スピーチコンテストの内容に満足した生徒が多くいたか。</p> <p>③-1 生徒が主体的に行事運営を行うことができたか。</p> <p>③-2 本校の行事に関心を持つ中学生を増やすことができたか。生徒の活動の様子を適宜保護者・地域に発信し理解を得ることができたか。</p>					
2	生徒指導・ 支援	<p>①生徒一人ひとりに寄り添い、生徒理解にたった支援、相談体制を充実させる。</p> <p>②部活動の活性化を通して連帯感や責任感の涵養を図る。</p>	<p>①生徒理解に基づく生徒指導、生徒支援により、生徒の自律心や人権意識の向上につなげる。</p> <p>②活動の成果をホームページ等で広報し、保護者・地域の理解につなげ、生徒の自己肯定感を涵養する。</p>	<p>①-1 教育相談に関する研修を実施し、職員の総合的な支援スキルを高める。</p> <p>①-2 生徒の個別の課題の正確な把握、職員間の情報共有を踏まえた、支援策をたてる。</p> <p>②部活動の活動の様子等を随時ホームページで紹介する。</p>	<p>①-1 本校生徒の課題に対応した効果的な研修が実施できたか。</p> <p>①-2 適切な支援策の検討と実施がなされたか。</p> <p>②本校の部活動に関心を持つ中学生を増やすことができたか。生徒の部活動の様子を適宜保護者・地域に発信し、理解を得ることができたか。</p>					

3	進路指導・支援	<p>①社会との関わりや自己の在り方について、主体的に考える態度の涵養を図り、自己実現につながる進路選択となるような手立てを講ずる。</p>	<p>①明確な進路意識をもてるよう3年間の計画的・体系的なガイダンス体制を充実させる。 ①-2 生徒の適性や希望に沿った進路実現となるよう進路選択を考える機会を充実させる。</p>	<p>①-1 成績動向票や外部模試等の結果分析から、生徒の希望や実態を把握し、適切にアドバイスをを行う。 ①-2 進路室・自習室の整備をさらに進め、生徒の自学学習と進路選択に資する環境を整える。 ①-2 進路選択に有効な各種説明会を開催する。 ①-2 ICTを活用した進路情報提供を行う。</p>	<p>①-1 学年ごとの成績動向や外部模試の結果が、生徒の進路実現につながったか。上位校への挑戦する生徒が前年度より増加したか。 ①-2 生徒の利用率が上がったか。 ①-2 説明会は生徒・保護者に参考となったか。 ①-2 適切な時期と有効な情報を提供できたか。</p>				
4	地域等との協働	<p>①家庭、地域の教育力を活用し地域との交流活動を通し、生徒、保護者、地域に信頼される開かれた学校づくりをめざす。</p>	<p>①-1 学校運営協議会の機能を活用した地域連携活動を行う。 ①-2 ホームページ等の広報媒体を充実させる。</p>	<p>①-1 対面での会議を開催し、交流事業等の具体的実現を図る。 ①-2 ホームページの更新を行う。Twitterによる広報活動を行う。</p>	<p>①-1 対面での会議を開催できたか。交流事業を実現できたか。 ①-2 ホームページの更新回数が、令和2年度に比べて増加したか。 ①-2 Twitterによる情報発信が安定的に実施されているか。</p>				
5	学校管理 学校運営	<p>①安全・安心な学習環境の維持に努め、点検・改善に努める。 ②信頼・信用ある学校経営に努め、事故不祥事根絶に向け、強い決意をもって臨む。 ③教員のライフワークバランスを推進するために、教員の働き方改革を推進する。</p>	<p>①-1 生徒の防災意識を高める教育機会を充実させる。 ①-2 資源の有効活用等、環境意識を高める取り組みを行う。 ②-1 事故不祥事防止会議等を定期的に開催し、業務の点検を行う。 ②-2 成績処理、調査書、推薦書の点検体制を確立し適切な処理を実施する。 ③長期休業期間中の学校閉庁日の設定。夏季休暇の消化、年次休暇の取得推進を図る。</p>	<p>①-1 実践的防災訓練やPTAと連携した登下校指導等、生徒の防災意識の向上を図る。 ①-2 生徒環境整備委員等の活動を活発化させる。 ②-1 事故防止研修会を毎月実施する。啓発資料のチェックリストを活用して職員の意識を高める。 ②-2 学校全体で正確な点検に努め、組織的な体制で臨む。 ③学校閉庁日の完全実施をめざす。夏季休暇の消化、年次休暇の取得推進を図る。</p>	<p>①-1 実践的な防災訓練が実施できたか。 ①-2 生徒を中心とした古紙回収・再利用等の活動に取り組めたか。 ②-1 事防止に対する当事者意識の向上とヒヤリハット含めた事故防止はゼロにできたか。 ②-2 教科・グループ・学年が協働した正確な対応ができたか。 ③学校閉庁日の完全実施、夏季休暇の平均取得日数が4日以上となったか。</p>				